



戦争も核兵器もない平和な未来を ～ナガサキ・ヒバクシャの想いを継承し、 日本・世界に広げよう～

2018年度「ピースアクション in ナガサキ 虹のひろば」を、8月8日（水）午後に開催します。「73年前のきのこ雲の下の出来事」「被爆地ナガサキの思い」を伝え世代を超えて交流・共有し、全国に発信します。

当日は、「虹のひろば」に全国からたくさんの生協の仲間が集まります！多くの方のご参加お待ちしております。

日時：2018年8月8日（水） 13:10～15:30 開場：12:30（観覧無料）
会場：長崎市民会館 文化ホール（長崎市魚の町5 - 1）

プログラム概要

※進行上の都合によりプログラムの順番や時間が変更になる場合があります。予めご了承ください。



◇オープニング

長崎女子高等学校龍踊部

◆主催者挨拶

◇長崎市長ごあいさつ（予定）

◆リレートーク

○被爆体験 長崎原爆被災者協議会田中重光会長のお話

○被爆体験記朗読ボランティア

「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」より

活動報告および被爆者の手記朗読

○ヒバクシャ国際署名活動をされている

柿田富美枝さんより活動の紹介

◆子ども平和会議議長によるアピール文読み上げ

◇フィナーレ／被爆者歌う会「ひまわり」

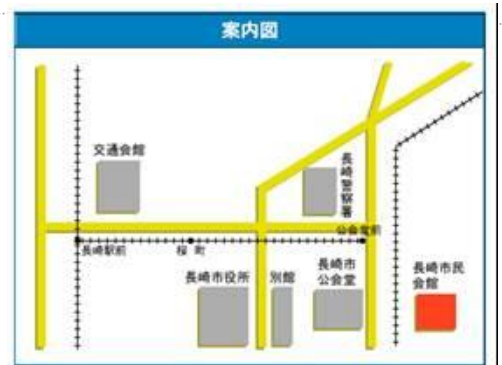
※裏面にそれぞれの団体の詳細情報を掲載しています。

【会場】長崎市民会館 文化ホール住所：長崎市魚の町5番1号

【アクセス】

＜JR 長崎駅より＞路面電車で、3番系統蛸茶屋行きに乗車、公会堂前（8月より市民会館前）電停で下車すぐ

＜高速道路＞長崎自動車道多良見ICから長崎バイパス（西山トンネル経由）を経由し、馬町交差点から市街中心部へ車で1分



主催：日本生活協同組合連合会・長崎県生活協同組合連合会

後援：長崎県、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市教育委員会、長崎原爆被災者協議会、長崎平和推進協会、核兵器廃絶地球市民集会、NHK 長崎放送局、NBC 長崎放送、KTN テレビ長崎、NCC 長崎文化放送、NIB 長崎国際テレビ、エフエム長崎、長崎新聞社、西日本新聞社長崎総局、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社

オープニング

長崎女子高等学校龍踊部

長崎女子高校の龍踊りのみなさん。披露してくれるのは、長崎おくんちで踊り町が舞う踊りと全く同じ、日本で唯一女子だけによる龍踊部で龍は赤、その見事さで各地のイベントにも参加しています。長崎女子高校龍踊部が織り成す鮮やかな演舞をご堪能ください。



リレートーク

長崎原爆被災者協議会 田中 重光 会長

4歳の時、爆心地から6キロ離れた時津町で被爆。元国鉄職員で、1999年に退職後、長崎市へ戻り被爆者運動に本腰を入れ、講話や被爆者への相談員として活動し、昨年より長崎原爆被災協会会長を務めています。



被爆体験記朗読ボランティア 「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」

被爆体験の継承を目的とした朗読ボランティア。2014年に「被爆体験記朗読ボランティア育成講座」が始まり、2年間の研修終了後、登録メンバーで「永遠の会」として活動を始めた。

現在、40代から80代の47名で、主に追悼平和祈念館内での朗読や依頼先への派遣、定期朗読会などの朗読と体験記の発掘に取り組んでいる。

柿田 富美枝さん

長崎出身の被爆二世。母親は21歳のときに爆心地より3キロで被爆。2012年に「被爆二世の会」を仲間とともに結成、現在事務局長。

長崎市家族交流証言事業に参加し、母の被爆体験と山口仙二氏、谷口稜暉氏等被爆体験を語る活動を行っている。またヒバクシャ国際署名県民の会事務局としても活動しています。



子ども平和会議議長による

アピール文読み上げ

8月5日(日)に広島で開催予定の「2018 子ども平和会議」。全国約150人の子どもたちが集まり、「平和」について話し合います。子どもたちの平和への思いをまとめたアピール文を読み上げます。



フィナーレ

被爆者歌う会「ひまわり」

歌を通して平和や核兵器廃絶を訴えようと2004年に発足。長崎市在住の音楽家・寺井一通さんが主催し、現在69歳から90歳までの被爆者50人が所属。2010年からは長崎原爆の日の平和記念式典で合唱しています。虹の広場での合唱は、毎年感動を与えています。

